

相模湾地震災害状況放送劇シナリオ 2

避難場所 鵜沼中学校体育館 震災当日 地震発生から三時間後

時間 二十時〇〇分

気温 四度 晴

課題 避難者名簿の作成。

状況設定

避難施設の安全確認が出来、避難者は、町内地区ごとの区分けに従い入館し、毛布などの至急を受けて一時休息。町内会役員は、マニュアルに従い藤沢市指定の避難者名簿の作成を始めるが、記入方法について話し合っているところへ市役所の担当者が到着、その説明に避難者から意見が続出。

【ストーリー】

登場人物

藤沢市子（ふじさわ いちこ） 高校生・愛称チィーちゃん

沢井 町内会役員で総務情報班（名簿作成担当）

佐藤 藤沢市職員（避難所担当）

避難者

女 A 障がい者の家族を抱えた家庭の主婦

女 B 会社員（経理担当）

男 C サラ金に迫られている住民

男 D 高齢者

男 E 町内会未加入者

モノローグの間に、机や椅子を並べる音、「手伝える人はこちらに集まってください」などそれぞれの班が呼びかけている声が聞こえる。赤ん坊の泣き声や子供のぐずる声、それをあやす声など、体育館内はざわついている。

【市子のモノローグ】

避難所になっている体育館の安全確認も終わって、やっと中に入れたけど明かりは懐中電灯だけだし床は冷たいし、学校にあった毛布だけじゃ足りないの。町内会長さんや役員の人たちが相談して、それぞれの町内会の防災倉庫から全部持ってこようってことだけど、道路状況が悪くて自動車は使えないので、運ぶ手段は学校のリヤカーか人海戦術だつて。今ある毛布は、病人やお年寄りそれに子供たちを優先にして、後はみんな譲りあって休んでいるわ。町内会の役員さんたちは、「防災マニュアルどおりにやるんだつて」、それぞれの班ごとに机を出したり椅子を並べたりしている、怖い思いをして避難してきた人たちも手伝ってる。みんな協力して何かしなくちやいられないんだ。それって、大切な事だと思う！ 凄い事だと思う！

机の上に用紙を出しながら、町内会役員が大声で避難者に呼びかける。

総務情報班沢井 皆さん、これからお配りする用紙は、当施設に避難された方々を把握するための避難者名簿です。全ての項目に記入して町内会ごとにまとめて提出して下さい。名簿の項目は全て記入して下さい。他の避難所や関係者からの問い合わせにも答えないので家族全員の氏名を書いて下さい。

用紙を配る、内容を見た避難者から「全部書くのは無理・人数だけで良いのではないか等々口々に意見が出る、そこへ行政から担当者が到着

行政職員佐藤 責任者の方ですか、藤沢市役所の佐藤です。

総務情報班沢井 ああッ、どうも役員の沢井です。総括責任者は会長の中島ですが、今外に行っています。

行政職員佐藤 そうですか。で、この避難所の状況はどうですか。

総務情報班 沢井 施設の安全確認をしてやっと入館したばかりです。これから避難者名簿の作成をお願いして状況を把握しようとしていたところですが。ちょうどいい、行政の方から名簿の作成について皆さんに説明して下さい。

行政職員 佐藤 わかりました。(あらためて大声で) 藤沢市役所の佐藤です。皆さんにお配りしました藤沢市の避難者名簿には、マニュアル通り必ず記入して下さい。これは、物資の配分や応援人員の確保、避難所の状況確認および他からの問い合わせに必要ですから、漏れのないようきちんと記入してください。この避難施設は各町内会の区分が出来ているようなので、リーダーがまとめて市のほうに提出して下さい。

避難者 女 B 名簿の作成は、必要最小限度記入するだけで、詳細は落ち着いてからでいいんじゃないんですか。

避難者 女 A まずはここに来た私たちの名前と性別・年齢だけでいいと思うんですけど。赤ん坊やからだの不自由な人もいるので、早く落ち着きたいわ。

避難者 男 C 俺、名前は書きたくないな。今サラ金に追われて逃げているところだ。家族も被害にあつて、辛くて……。名簿に名前は書きたくない。

行政職員 佐藤 物資の調達上必要です。どうしても名前・住所・家族構成は記入して下さい。配給のためにもちゃんと書いて下さい。

避難者 男 D それは分かっています。まずは、市に協力すべきだと思いますよ。でも、今はこんな状態なのだから、名前だけ書いて、詳しいことは後から書くということではいけませんか。

避難者 女 B けがをして字が書けない人もいると思うんです、今は混乱しているときなので、名前だけ書いて、後は時間があるときと言うことには……。。

避難者 男 E 鵜沼地域外の人が当避難所に大勢きている。まず鵜沼地域の住民の受け入れを考えるべきだ、その意味でも名簿作成は必要だよ。それと、登録したかどうか分かるように、各自に名札を貼った方がいい。

避難者 男 D どうこういったって、緊急時に細かい事を記入するのは現実的に不可能だよ、簡単なものでいいよ。

避難者 女 B 名前を書いた名簿で物資を配分するのか教えてください。それと家で待機している人や地域外からきた人も名前を書けば、物資がもらえるんですか。

行政職員佐藤

名簿を提出した人から平等に受け入れたいと思います。皆さんの意見もあるので、最小限度のことが書かれていればよいことにします。それから、地域外から避難してきた人も大変困っていると思いますが、その辺の取り扱いには避難所の責任者や町内会の役員さんと相談して決めてください。

避難者女A

最小限に記入するとはどの範囲までですか。

避難者女B

町内名と名前だけでいいんじゃないの。

総務情報班沢井

町内会の名前も書いてもらえるとありがたいですね、それに氏名と住所、一緒に来た家族名も。配給の時に必要ですから。

避難者男D

健康状態は記入した方がいいんじゃないか、自分は血圧が高く、健康状態はよくない。おばあちゃんは心筋梗塞気味だ、名簿には弱者や障がいのある人も記入するようにしたほうがいい。

総務情報班沢井

障がい者の記入には抵抗があるんじゃないですか。

行政職員佐藤

弱者や障がいのある人のことは、民生委員にお願いしたらどうですかね。

総務情報班沢井

ここにきているかどうか分かりませんが・・・。おーい中村さん！民生委員の岡田さんが来ていないか探してくださいか。

「はい」という返事。二人がもめているところに、避難者女Aが割り込んでくる。

避難者女A

名簿を作る目的が不明確です。避難所では苗字と家族構成だけで充分なはず。名前、年齢、性別、まして障がいなど個人情報を入力するには、それなりの理由が必要ですよ。障がいを持っている人のことは行政が把握しているはずですから、保護者名だけでいい。障がい者のいる家族は敏感になっているんです。世帯主の名前と、後は人数だけでいい・・・。

総務情報班沢井

町内会としては、その後の会の運営のためにも書いてもらわないと。

行政職員佐藤

名前と住所だけでも書いてもらって、詳細が必要な場合は、後で書いてもらうというのはどうでしょう。

避難者男D

ここで全部欄を埋めるのは無理です、親族の連絡先などは手帳を持ち出さないと書けない。それに、後で書くっていうけど、探し出すのが大変だ。

避難者女B

所氏名だけなら親類からの問い合わせもあるから行政の指示に従いますけど、連れてきたお年寄り、手が不自由でめがねも持ってきていないから、字が書けないので代筆して欲しいと言っています。記入は本人じゃなければいけないんですか。

避難者男E

あのオ・・・先ほど、町内会名を書くと言われましたが、自分の所属している町内会が分からないので書けないんですが、

避難者男C

実は俺もこれまで、町内会費なんて払ったことなかった。町内会には入っていないかったんだ。そんな余裕ないよ。

行政職員佐藤

各町内会の役員に名簿を持ってきてもらって、それを基にチェックする。その方がスムーズですよ。町内会にはいつていない人は、その場で書いてもらう。

避難者男C

名簿ってこの紙に書くだけなの、サラ金に追われているからコンピュータに入力するのは止めて欲しいんだけど。

行政職員佐藤

情報の機密は守ります。行政のコンピュータには入力しませんから、最小限度の届け出はして欲しいです。名簿は、町内会で管理して下さい。

総務情報班沢井

すみませんが行政をお願いします。地域外の人が、食事をするためだけに来ないようにして欲しいのですが。

行政職員佐藤

今すぐに回答は出来ませんが、戻って相談してみます。

避難者女A

プライバシーのことで知られたくない事情もあるんです。名簿には住所それから世帯主と人数を書いて、配給以外には問い合わせだけに使う。それでいいか悪いかきめてください。

行政職員佐藤

わかりました。それでは、記入に際しては住所と世帯主名それと家族構成員の人数だけでよしとします。名簿の活用については、鵜沼地域での被災者の数を把握したいだけです。安否の問い合わせ以外には使用しません。

がやがや言いながら、各自町内会のリーダーの指示で避難者名簿の用紙に記入してゆく。

【市子のモノローグ】

いろんな事情を抱えた人がいるんだから、マニュアルどおりやるって言うのは、無理があるんだ。みんな混乱しているし、緊急事態なんだから、臨機応変

に対応しなくちゃならない。でも、勝手なことをしちゃったら、それこそ配給だって不公平になるし、ますます混乱しちゃう。みんなが少しづつ我慢して、思いやりを持って譲り合う、やっぱり最低限の約束事は必要だよね。

モノローグの最中も避難所内の雑踏が続く

ストーリー2 終わり

地域発防災ラジオドラマ

現状とドラマ（フィクション）との相違点

● 二〇〇九年現在、藤沢市には市内の公立学校等を中心に八十一か所の施設が避難所として指定されています。一定の規模以上の災害が発生すると各避難所にはあらかじめ担当が決められた市職員（複数名）が駆けつけ、避難所開設の準備をはじめます。このドラマでは停電して暗い中、あえて担当者が駆けつけられない（何らかの事情が発生した）と想定して、避難所担当職員がいない中で住民だけでどうするかを協議するシーンを作りました。

● 市内の公立学校については、おおむね耐震性が確保されている状況にありません。鵜沼中学校も耐震補強が完了してはいますが、いくら耐震補強があっても、施設に入る前には安全性を確認する何らかの行動があり、かつそこには地域の協働関係が象徴されると考えて、あえて議論されるシーンを作りました。なお、藤沢市の避難施設マニュアルには簡便な安全性チェックシートも用意されています。実際のシナリオワークショップでは、建物に少しでも不安があるときは、校庭で待機するほうがよいという意見が出たグループもありました。

● ドラマではわずかなシーンですが、ペットと離れられないと主張する住民と、避難所の関係者のやり取りが描かれています。ほとんどの避難所運営マニュアルではペットの持ち込みは原則禁止となっています。アレルギーがある人や動物が苦手な人がいる現状に堪えますが、避難所内にペットを自由に持ち込める状況にするのは難しいと思いますが、地域で何らかの工夫が出来ないか、事前に検討しておくことは可能だと思います。柏崎市ではペットと離れたくないという住民のために、避難所となった学校の駐車場に停めた車の中に入れたという事例もあるようです。藤沢市ではペットを専門に扱う事業者

● どの協定を結んでいるところもあります。

● ドラマでは避難所運営組織の各役割が決まっているので、組織は順調に動いている形に描かれています。実際にはこの舞台となった鶴沼中学校地区の避難所運営体制の組織化は、まだ緒についたばかりでドラマ制作時点では個人に役割があらかじめ決められているわけではありませんでした。鶴沼中学校地区防災連絡協議会では平成二十二年二月に避難所設営訓練を実施し、実際の場面になったら現場でどのような課題が生じるかを、実際に体を動かして検証・確認することが決定しています。

● 災害時の公的支援を効率的に行うためにも、避難所の実情をその都度、市の対策本部に送り、状況認識を共有化しておくことは重要です。誰がどこにいるかがわかれば、被災地外からの連絡や安否確認の際には大変都合がよいといえます。しかし最近の個人情報がらみのトラブルにかんがみて、住民の中には本当のことを書きたがらない人が出てくるかもしれないと考えてこの課題を設定しました。町内会・自治会で名簿が作成されていない（作成が難しい）地域が増えていくようです。藤沢市の避難施設運営マニュアルには書きが定められていますが、そこに項目があるからすべて埋めると考えずに、それぞれの項目がなぜ必要かを住民自身で考え、判断することが重要であると考えられます。

● 鶴沼中学校地区ではいわゆる戸建て住宅からなる町内会・自治会だけではなく、一部のマンションの管理組合からなる自治組織が参加した形で防災連絡協議会を構成しています。防災連絡協議会に加入している自治会、管理組合の関係者間の合意形成には問題がないと思われませんが、地域のすべての共同住宅の居住者が参加しているわけではありません。したがってここで議論されたようにマンションによってはほとんど交流がないところも存在しています。

● 藤沢市では地域内住民を主体として、災害時のボランティア活動を支援するための組織藤沢災害救援ボランティアネットワーク（FSV）が活動しています。ここで取り上げたような課題の解決のためにも地元で活動するボランティアコーディネーターとしての役割が期待されます。